

**「居場所としての駄菓子屋」**

——高橋裕香子さん【あそびプランナー】に聞く

あそびと駄菓子屋「たかさんち」は、「たかさん」こと高橋裕香子さんが自宅の一室を開放し、子どもの居場所を意識して、平成10年にはじめた新しいタイプの“駄菓子屋さん”です。場所は、世田谷区の下高井戸駅前の商店街から路地に入ってすぐのところにあります。六畳ほどの広さの店に、5円のチョコ、10円のゼリーなど、100種類ほどの駄菓子が並び、子どもたちは店のなかのベンチに腰掛けて、楽しそうにおしゃべりしたり食べたりしています。高橋裕香子さんに、子どもたちの居場所としての駄菓子屋の魅力について伺いました。

**▼「たかさんち」をはじめられたきっかけは？**

児童館職員（児童厚生）、東京都児童会館専門員を経て、東京都レクリエーション協会公認講師として、教育委員会等主催の研修事業や児童館など子ども関係施設で、子どもや指導者に遊びの指導、提供を行っています。

その経験から、自分のところにも子どもたちを集めて、日常的にも子どもたちとかかわれる居場所を意識した、地域にも役立つ場をつくりたいと思い、自宅の空き室を利用し、あそびと駄菓子屋「たかさんち」をオープンさせました。

今の子どもたちは、監視され、何かをしてはいけないという目で見られることも多く、ほっておかれても誰かに見守られている時間とスペースの必要性を感じ、子どもたちが主人公で、あそび場ともなる居場所をつくりたかったからです。

**▼駄菓子屋の魅力はなんですか。**

駄菓子屋は、食べ物やお金が介在することによって、欲や本音が出やすくなり、学校や家庭では見られない素顔を垣間見、自然体で子どもと接することができる場所です。また、子どもたちの目線での「居場所」であり、同じ場所で子どもの成長を見守ることもできます。

当初は、あそびの提供をと「母の日のプレゼントづくり」などの工作や「ミニミニ縁日」などのイベントも行っていましたが、「駄菓子」の魅力である食する楽しさやおしゃべり、「店」での子ども同士の出会いそのものが、子どもたちがつくりあげた「あそび」「コミュニケーション」の場となり、「駄菓子屋喫茶」「秘密基地」という形に落ち着いていきました。

ただそこにいることができ、何もなくて良い場所も子どもたちにとっては必要であり、居心地の良い場所となります。子どもたちは自分の気に入った場所を壊そうとはせず、より癒される場所にしようと、店のルールを守り、手伝いや協力をしてくれます。

駄菓子屋「たかさんち」の不思議なところは、訪れた子は、皆、素直で聞き分けの良い子になり、笑顔になるところです。店の外でも声をかけられるのはうれしいですね。

## ▼7年目を迎えてどのような感想をおもちですか。

「たかさんち」を通して、違う学年同士はもちろん、小学生と中学生、時には高校生も一緒にあって会話を楽しめ、違う学区の子どもたちとの出会い、交流の場にもなっているので、社会的な視野や考えが広がっているように感じます。時には、万引きについて話したり、将来を語ったりするなかで、子どもたちの生きる力、「免疫力」が高まっているように思います。あまり大人が介入せず自然に子ども同士でコミュニケーションが取れる貴重な場所になっているとも言えます。ただ、大人としての意見が必要な相談ごとなどには、気軽に応じています。

また、オープン当時小学生だった子が大学や就職が決まったと、報告しに来てくれたり、「ここに来ると昔の話が出来るよ」と、居場所からふるさとへという効果も生まれてきています。

## ▼子どもたちのかかわりを通して感じておられることについて伺います。

昔も今も、子どもの本質は変わっていないと思っています。悪いことをするのはと、不審な目で見れば、その「疑い」に応じて悪いことをしたくなります。でも、やさしく「自由にやっごらん。困ったら助けてあげるよ」と見守れば、子どもたちは素直になります。監視の「冷たさ」でなく、信じて見守る「あたたかさ」が大切だと思います。

子どもをどうにかしようというのではなく、ありのままを受け入れ、信じて見守り、こちらも飾らず、気負わず、無理をせずというスタンスで、見たままの子どもと付き合っていくのが良いと思っています。同じ地域の仲間としてかかわっています。

「たかさんち」の活動を通じて、子どもたちの良いところすばらしいところと、ひとりでも多くの大人と子どもが顔見知りになる機会の必要性を、社会に伝えていきたいと思っています。心にやさしい駄菓子屋でありたいと願っています。



問い合わせ先：あそびと駄菓子屋「たかさんち」 世田谷区赤堤4-36-22 MTビル  
<http://www6.ocn.ne.jp/~daga483/> (月・木・金は午後3時～6時 水・土・日は午後1時半～6時)